

# こころせい

## 第33号

平成24年 1 月

発行 高知厚生病院  
広報委員会

### ◆ 高知厚生病院の理念・基本方針 ◆

#### 理 念

私たちは、安全かつ質の高い医療を提供し、皆さまに信頼される病院を目指します。

#### 基本方針

1. 患者さまとご家族、更に地域の皆さまの幸せのための医療を実践します。
2. 患者さまの権利を尊重し、真摯かつ温かい態度で接し、心と心が通い合う医療を実践します。
3. 自己研鑽に努め、更に発展向上を目指します。
4. 地域の医療機関や施設と連携し、効率的な医療を目指します。
5. 地球環境に留意し、災害への備えを怠りません。



## 新年の御挨拶



院長 山口 継志郎

新年お目出とう存じます。2012年を迎えましたが今年も年の始めは良いお天気に恵まれましたので皆様には楽しい三ヶ日をお過ごし出来た事とお喜び申し上げます。しかし乍ら積雪の中、心ならずも仮設住宅で寒い淋しい新年を迎えられた東北の多くの被災された方々のことを思えば心が痛みます。

昨年は千年に一度という大震災と、それに引き起こされた人災による未曾有の大災害が発生しました。そしてその救済と復旧復興に明け暮れた一年であった様に思います。そしてこの事はこれからもまだまだ長くつづく事でしょう。被災された方々も我々も共に終戦時の灰燼の中から立ち上がった往時の我々日本人の根性ある姿を思い起こし、勇気を持って再生新生に立向かってゆく事を願って止みません。また、2011年には北アフリカ、中東地域に於ける政変やタイの水害、米国債の格下げなど様々の出来事があり世界経済も深刻さを増しています。このような世界情勢の中ですので、日本経済も早急な回復は望めないと思いますが、辰年には昇龍の如く景気の良くなる年も多いと言われていますので、少しは野田内閣の今後に期待して見たいと思っています。

初詣では混雑をさけて人波の少ない國分寺に参りました。昨年为天災の鎮魂と今年の安全を祈願して、鐘樓に登り鐘を二度撞きました。鐘の音は、静かに遠く響き渡りました。今年も皆さんと共に頑張りたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

平成24年1月吉日



# ブッダガヤ紀行

(その4)

副院長 山口 龍彦



## ◆ 大菩提寺

大菩提寺は2,600年の昔、お釈迦様が悟りを開かれたという菩提樹の木を中心にしたお寺で、世界遺産にも登録されている。中心の塔はレンガを積んで造られており、52mの高さがある。周辺には高い建物がないため、数キロ離れた遠くからでもよく見える。



大菩提寺



菩提樹の木

紀元前3世紀にアショーカ王が建立した寺院を起源とし、7世紀頃にはほぼ現在の形となったと推定されている。

この寺院は、13世紀以後イスラム教がインドを支配した時期、イスラム教徒の破壊から守るために、すっぽりと深い土の底に埋められていたようだ。高い塔を覆う丘のような盛り土によって破壊から守られた寺院は、数世紀の間そのまま眠り続け、歴史の彼方に忘れ去られようとしていた。寺院の発掘、修復が始まったのは19世紀後半イギリス人カニンガムらによる。高さ52mの本堂の他、ブッダが座していた場所「金剛座」、ブッダが沐浴をした「蓮池」などが掘り出され、仏教の聖地として甦った。肝心の菩提樹は、スリランカに移植されていたオリジナルの子孫を元の位置に戻したそうで、記録をたどれば正当な4代目の木だとのこと。

現在のブッダガヤや周辺の住民はヒンドゥー教徒であり、仏教徒ではない。仏教はイスラム支配の間に廃れてしまっていたのだ。僧は殺され、教典は焼かれてしまった。教典を読んで解説してくれる僧がいなくなると仏教は滅びるしかないのだ。戦いや殺人を禁止する仏教は侵略に弱く、歴史的にも仏教国は容易に滅びてしまっている。13世紀にこの地にいた仏教徒は、戦うよりも寺院を膨大な量の土に埋めることに力を尽くし、子孫が掘り出してくれるのを期待

したということか。そして、その悲しい願いは今、実現している。

この聖なる地に、世界中から仏教徒が巡礼に来ている。目につくのはあずき色の僧衣をまとったチベットの僧侶たちで、中国によって国を追われた彼らは、大菩提寺の周辺にたくさんの宿舎を建てて滞在している。(チベットもまた、仏教国であり、侵略には備えがなかった。)

寺院の周りには二重の回廊があり、巡礼者たちはこの回廊を右繞(うにょう)する。尊いものに対して、右回りに3度巡ることを右繞と言うが、私も巡礼者に従って靴を脱ぎ、(本来なら裸足なのだが冬なのでさすがのインドも寒い)ソックスは着用で右繞させていただいた。

右繞の途中で塔の裏手に至ると、菩提樹の木がある。大木である。歴史的にもこの木は仏教に敵対する外道によって何度も切られたりしているから、頑丈に柵がなされて守られている。この木の下では悟りを求める幾つもの集団が正座して声を揃えて経を唱えていたりする。

ここに来ると、仏教がまだ生きている宗教であるということに感動を覚える。少なくとも、この寒い冬の出前からここにやってきて経文を唱えているこの何千人かの人たちは、仏教の修行者たちなのだ。そして、多分、自分の国へ帰ると僧侶もいるかもしれないが大方は普通の生活者であるに違いない。

右繞が終わり、正面の入り口から入ってゆく。塔中央部に安置されている黄金の仏像に直面し、手を合

わせた。

この仏教発祥の地から、仏教の到達点としての、はるか日本の国を考えてみた。日本が仏教国でありながら滅びず、鎌倉時代に元寇を退け、日清日露の戦争にも勝利し、太平洋戦争においても最強国アメリカに3年半も死力を尽くして戦うことができたのは何故だろうか。

これは、日本に仏教のほかに神道があったからに違いない。元寇の時は、鎌倉武士たちは源氏の守り神でもある八幡神を信仰していた。明治以後の日本は廃仏毀釈で神道の方を仏教よりも上においていた。平和を愛する仏教を前面に出しては、戦うことができない。逆に神道は戦いによって日本を統一した最強の神々を祀る。戦いには強いのだ。

太平洋戦争の敗戦によって、日本神道は力を弱め、近年は祭日といっても国旗がはためくことがなくなっている。公立学校の卒業式でも国歌を斉唱してもらえないこともあるようだ。

一方、日本国憲法では日本を取り巻く諸外国が、『公正と信義に信頼』できうる平和を愛する人たちであると定義している。国際社会は『平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている』のであるから、日本は戦力を持ったり、戦ったりしてはいけないと理想主義の権化のようなことが書いてある。

仏教的な性善説が支配する社会は平和な社会であるが、インドにおいても、中国においても、シルクロードの国々においても、そして奥州藤原氏にしても、(チベットにしても)それは常に外敵によって滅ぼされているのが歴史の教訓である。

日本を守る、新しい理念が必要な時代となっているのである。



黄金の仏像



## 「骨粗鬆症検査」骨塩定量装置導入



当院では、骨粗鬆症を診断するために、平成24年1月より新しい**骨塩定量装置**を導入致しました。DEXA法（二重エネルギーX線吸収法）という最も正確な方法で骨塩量（骨密度）を測定する装置です。

骨は古くなると排出され、常に新しい骨が形成されています。このバランスが崩れると、骨塩量が少なくなり骨粗鬆症という病気になります。

骨粗鬆症の怖いところは、自覚症状が現れにくいということです。背骨は痛みのないままつぶれていることもあります。もし、それで転んだり、つまずいたりしたら…。QOL（生活の質）を大幅に下げようような生活を送ることになりかねません。

検査は、イスに腰掛けて片腕を装置に入れて頂くだけで簡単に測定ができ、**測定時間は約1～2分**と気軽に受けられます。詳しくはスタッフまでお尋ね下さい。



## 3分間スピーチ

### 朝の3分間スピーチより

3階病棟 吉村弥生

「断捨離」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？

今、話題になっている片付け術の事で、元はヨガの「断行」「捨行」「離行」という心の執着を手放すための教えに由来するものだそうです。物があふれてなかなか部屋が片付かないので年末の大掃除という時期ということもあり「断捨離」の本を買ってみました。

本の中で一つ心に残ったのが“物は使うから意味がある”という言葉でした。私の家にも、いつか使おうと思って使っていないものがたくさんあります。例えばお店でもらった紙袋や着なくなった洋服、引き出物でもらった食器などです。もったいない、いつか使うからと思いながら、なかなか捨てられずにいました。物を捨てるかどうか決める基準は、「使えるか、使えないか」ではなく「使うか、使わないか」ということだそうです。

今の自分に必要なもの、快適だと思えるものだけを身の回りに置くようにしていけば、無駄な買い物をしなくても済むし、もっと物を大切にしていけるのではないかと思います。身近なところから手をつけて部屋も心もすっきりできるようにしていきたいです。

## 院内行事

### 通所リハビリテーションこうせい

宮脇健二



昨年12月20日に通所リハビリでクリスマス会が行われました。職員によるハンドベルの演奏と大くじ引き大会が行われました。ハンドベルの演奏では演奏に合わせて利用者さんも歌を口ずさまれたり、くじ引き大会では幸運な1名の利用者さんに素敵なプレゼントが贈られるなど楽しい時間を過ごされました。



当院は  
平成15年9月22日より  
日本医療機能評価機構  
認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人  
日本緩和医療学  
会より認定研修  
施設として認定  
されました



◆ 厚生労働省より  
医師の卒後臨  
床研修施設の  
認定を受けまし  
た

### 編集後記

寒い日が続いています。多少のぼっちゃりには目を向けず、しっかりと栄養と睡眠をとって、体調管理に努めている今日この頃です。手軽に出来て効果抜群！手洗い、うがいをしっかりと、風邪などを予防していきましょう。（A・I）



高知厚生病院

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655  
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>